

# 凍霜害対策

## ＜ペール缶、キッチンペーパー等を活用した燃焼法の実施方法＞

資料提供：北信農業農村支援センター

### 1 準備するもの

- (1) ペール缶 40~50 個/10a
- (2) キッチンペーパー 20~25 ロール/10a または トイレットペーパー40~50 個/10a
- (3) 灯油 75ℓ/10a 1 回当り



キッチンペーパーを半分に



灯油とキッチンペーパーを入れる



点火



点火直後



120分後



ほ場の様子

### 2 燃焼資材の調整

- (1) キッチンペーパーをカッター等で半分にする。トイレットペーパーはそのまま使用。

### 3 点火

- (1) キッチンペーパー（芯）をペール缶に入れ、灯油を1.3L入れる。
- (2) 気温がプラス1℃となるまでに点火を完了する。早目の点火。
- (3) バーナーまたはチャッカマンを用いて、迅速に点火する（ライターは危険）。
- (4) 3時間程度燃焼可能。黒煙が発生するので、民家付近で実施する場合は注意

### 4 その他

- (1) 消火後、容器内に灯油を含んだチップが残るが、そのまま保管すると危険なため、燃え残りは適切に処分する（できるだけ燃やし切る）。
- (2) 容器は液漏れがないか確認し、液漏れのない容器は次回の燃焼法に備え保管する。
- (3) 防霜ファンの効果限界温度は-3℃程度であるので、これ以下になる恐れがある時は、燃焼法を併用して被害発生を防ぐ。